

第29回「全国児童水辺の風景画コンテスト」特別賞の(一社)日本マリーナ・ビーチ協会会長賞が決まりました。

第29回「全国児童水辺の風景画コンテスト」最終審査会が、公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団主催により、平成29年10月24日(火)日展会館(東京都台東区)において開催されました。

「全国児童水辺の風景画コンテスト」は、小学生以下の児童・幼児を対象に、積極的に水辺に出かけ発見・体験したことを、子どもらしい素直な表現で自由に描くことを通して感性が育まれ、のびのびと成長するための一助となることを願って、平成元年より毎年実施しています。

日展会館において本選会を実施し、予選会を通過した260点の作品の中から、「文部科学大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」「農林水産大臣賞」、「特別賞」(日本マリーナ・ビーチ協会会長賞他)、「優秀賞」の合計40点が選ばれました。

日本マリーナ・ビーチ協会会長賞は、以下の作品です。

日本マリーナ・ビーチ協会会長賞

氏名:竹下 珀空

学年:小学校6年

作品名「あはは、海草しかつれない」

夏休み、大村で、キスをつろうとしたけど、ほぼ海草しかつれなかった。



選考者のコメント：

この作品は友人たちとの釣りをする様子が描かれています。過去に私自身も同じような体験をしてきたわけですが、そのワクワクが蘇りました。また沖を見ると船があり、健全な海洋性レクリエーションの振興をめざす当協会の活動にぴったりの作品ということで選びました。